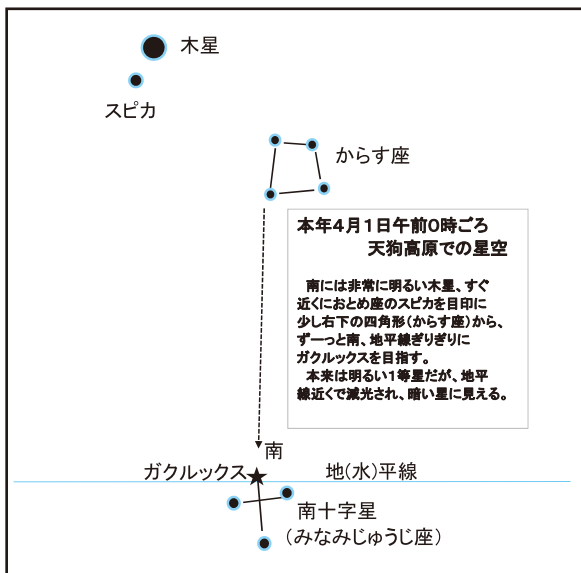


天狗高原 星空だより

4月に入り、麓では桜が満開の頃ですが、ここ天狗高原の桜は5月上旬となります。春の星空は、オリオン座に代表されるにぎやかな星座たちが西に傾きますが、ライオンの姿が容易に想像できる「しし座」などが夜空を楽しませてくれます。

さて、今月は、なかなか見ることができない2つの星のお話をします。一つ目は「水星」です。学校で習った「水・金・地・火・木・土・…」のうち太陽に一番近い場所にある惑



星で、88日で太陽を一周します。水星は太陽のすぐ近くにあるため、日の出、日の入のわずかな時間、地球からの見かけ上、太陽から遠く離れたわずかな時期のみ見ることが出来ます。今年の4月1日は太陽から一番東に離れる日です。当日の日の入りは6時半ごろですので、その頃、西の方向、地平線から10度くらい上にある明るい星が水星です。水星は大変動きが早いので、日々、太陽に近づき、早くも4月下旬には太陽を追い越して西側に位置し、夕方には見えなくなります。このように動きの速い水星は、「韋駄天(いだてん)」：足の速い神様 とも言われます。

2つめは「ガクルックス」です。これは、みなみじゅうじ座(南十字星)の一番上の星で、通常、九州南部でやっと見ることが出来ます。天狗高原では、空気が澄み地平線近くまで雲がないなど、いくつもの好条件が重なれば、まれに地平線近くに現れます。天狗荘では、2年前に初めて写真撮影に成功しています。通常、沖繩以南で見ることのできる南十字星、その一部ですが、天狗高原からの撮影にチャレンジしてみませんか。

(天狗荘)

絶対行きたい! 「つの茶」 スポット

第1回 『吉村虎太郎邸』

津野町茶業振興アドバイザー 柿谷 奈穂子

皆さんこんにちは! 昨年度は、お茶のさまざまな魅力をお伝えしてきましたが、本年度は1年を通して、町内で「つの茶」を楽しめるスポットをご紹介します。と思います。

第1回のご紹介は、今年3月からの幕末維新博で熱い『吉村虎太郎邸』です。こちらでは、この春より「極上煎茶」と和菓子のセット(税込500円)がメニューに加わり、美味しい「つの茶」と、愛情のこもった優しい手作り和菓子をいただくことができます。

極上煎茶は、静岡の茶商も唸らせた津野山の上級煎茶で、急須を使ってゆっくり味わえるのがポイント。淹れ方の説明もつくので、1煎、2煎と皆さんのペースで思い思いにゆっくり楽しめます。暖かい時期は、縁側でほっこりいただくのもよいですね!



『吉村虎太郎邸』

津野町芳生野甲1456-1

電話0889-622601

営業時間 9時〜16時

入館料金無料

定休日 年末年始

(12月29日〜1月3日)

アクセス 津野町役場西庁舎から車で約5分